

脳性麻痺

発症防止への挑戦

企画にあたって

岡井 崇

脳性麻痺発症原因の、現場の臨床的視点からの緻密な解析は、わが国のみでなくすべての先進諸国の周産期学術活動において、十分になされてきたとは言い難い。臨床経過と脳性麻痺発症の因果関係の科学的検証が難しいことに加えて、出産のきわめて残念な結果が惹起する憤りの感情や金銭的損害の負担を巡る対立と紛争が学術的原因究明に抑制的な影響を及ぼしてきたことも事実である。しかし、2009年に発足した産科医療補償制度によって、部分的にはあるが、後者の問題を切り離すことが可能となり、それによって今まで必ずしも明らかでなかった脳性麻痺発症の関連事象などが少しずつ見えてきたように思われる。

2012年11月までに原因分析が完了した事例は188件で、43件は「原因が明らかでない、または特定困難」と判断されているものの、145例で主たる原因が推定されている。それらは多岐にわたるが、多く見られる病態は常位胎盤早期剝離、臍帯因子、感染、子宮破裂、胎盤機能不全、胎児母体間輸血症候群などであった（表1）。

「脳性麻痺——発症防止への挑戦」と題した本企画では、まさに挑戦の精神で、ほんのわずかであってもその発症率を低下させるためにできることは何かを、それぞれのテーマに

表1 脳性麻痺の主たる原因

病態	件数
単一の原因	106
常位胎盤早期剥離	48
低置胎盤の剥離	1
臍帯因子 臍帯脱出	11
その他の臍帯因子	19
子宮破裂	6
妊娠高血圧症候群に伴う胎児胎盤循環不全	2
妊娠糖尿病に伴う胎盤機能不全	1
子宮収縮薬投与による過強陣痛	1
感染 絨毛膜羊膜炎	1
その他の感染	4
胎児母体間輸血症候群	5
双胎間輸血症候群	1
児の頭蓋内出血	1
吸引分娩による帽状腱膜下血腫	1
車中の墜落分娩における被膜児	1
羊水塞栓	1
麻酔導入中の換気不全による母体の心肺停止	1
母体の心不全	1
複数の原因	39
常位胎盤早期剥離	8
臍帯脱出	1
臍帯脱出以外の臍帯因子	19
子宮破裂	1
妊娠糖尿病, 妊娠高血圧症候群に伴う胎盤機能不全	7
絨毛膜羊膜炎またはその他の感染	11
帽状腱膜下血腫	1
胎児発育不全	5
原因が明らかでないまたは特定困難	43

沿って領域の専門家にご執筆いただいた。

難しいとは言え、脳性麻痺の発症率を低下させることは周産期医療に携わるわれわれ産婦人科医師の最重要課題のひとつである。原因に関連する因子のより詳細な病態の解明と、早期の診断法や迅速な対応策などについての指針の作成を進めるとともに、現場のわれわれができる防止対策への最大限の準備と確かな認識を持って分娩の管理に当たりたいものである。